



ID: 1108

科目名	基礎ゼミⅣ※(建築システム専攻)【26年度生用】			コード			
英語表記	SeminarⅣ						
担当教員名	東 孝次			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	1		
授業形態	演習	授業形式	面前	履修形態	必修		
授業概要							
<p>本科目は、基礎ゼミⅢに続き、卒業研究および卒業論文作成に必要な技術を身につけることを目的とするものである。そのため、論文の作成方法に関する3冊の文献を輪読しながら学習を進める。このことにより、論文の作成方法を主に学ぶ。</p>							
到達目標							
(1)卒業論文の作成に当たっての心構えを学ぶ(2)説得力のある文章の作成方法を学ぶ(3)インターネットの活用方法を理解する(4)福祉環境デザイン領域の各研究室の特徴を理解する							
授業計画							
第1回	ガイダンス(本科目の進め方について)						
第2回	書き方の約束、レポート作成の手順						
第3回	卒業論文の執筆手順						
第4回	文献・資料の集め方と整理の方法						
第5回	論理的な論文を書くための方法1(論文とは)						
第6回	論理的な論文を書くための方法2(議論を書くとは)						
第7回	論理的な論文を書くための方法3(論理性を高めるためには)						
第8回	論理的な論文を書くための方法4(説得力を高めるためには)						
第9回	論理的な論文を書くための方法5(アピールする文章を書くためには)						
第10回	インターネットを使った論文作成のためのテーマの絞り方						
第11回	インターネットを使った論文作成のための資料・文献の集め方						
第12回	インターネットを使った論文の執筆方法、レイアウトの工夫の仕方						
第13回	多賀研究室訪問						
第14回	濱永研究室訪問						
第15回	東研究室訪問						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
日頃の出席・授業態度と併せて、課題の提出物により表現力・習熟度を総合的に評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			20	20	30	30	
授業外学習			テキスト、教材				
学習した内容をまとめておくこと			小笠原喜康「大学生のためのレポート・論文術」講談社小野田博一「論理的な作文・小論文を書く方法」日本実業出版社小笠原喜康「インターネット完全活用編 大学生のためのレポート・論文術」講談社				
参考書			受講生へのメッセージ				
			文献の輪読を主としているので、すべての講義に出席する必要がある。				
キーワード							
議論、説得力、論理性							